

ニコニコハウスだより No.1



2023年秋号



長年ニコニコハウスを支えていただいたニコニコハウスの会の解散に伴い、ニコニコハウスの会発行の「ニコニコハウス通信」が令和5年5月で最終発行となりました。

これからは新たに「ニコニコハウスだより」として、社会福祉法人ニコニコハウス発行の機関紙を発行させていただきます。

今後は春夏秋冬の3か月ごとのペースで発行していく予定としております。※今年度は秋・冬の2回発行予定です。

ニコニコハウスの関係者の皆様、またニコニコハウスをこれから知っていただく皆様にニコニコハウスの魅力をより知っていただき、応援していただけるような内容にしていきたいと思います。

何卒よろしくお願い致します。

広報委員会 吉安

「ニコニコハウスだより」初回発行に寄せて

社会福祉法人ニコニコハウス 理事長 阿隅貴臣

時代は移ろいます。

昭和62年5月、障害のある子を持つ母親たちが立ち上げたニコニコハウスは、障害者の就労と地域生活の充実を目指して活動を始め、その運営母体として、「ニコニコハウスの会」が作られました。その後、発起人の知人や、会の趣旨に賛同して頂いた多くの方を仲間に招いて活動を拡大するなかで、法人格が必要となり、平成8年6月に「社会福祉法人ニコニコハウス」が誕生しました。これまでニコニコハウスの会で行っていた事業運営を法人に移管した後、ニコニコハウスの会は、主に法人を後方から支援する活動を続けてきました。その一つが、「ニコニコハウス通信」の発行でした。法人の事業活動の様子などを通信に載せて毎月発信していました。

しかし、発足から35年以上が経過したニコニコハウスの会は、今年6月に、役員の高齢化等の事情により、惜しまれつつ解散に至りました。ニコニコハウスの会の解散により、会の発行物として第三種郵便に登録していた「ニコニコハウス通信」は終了し、法人として新たな広報紙の創刊を模索してきました。そして、法人の広報委員会を中心に検討を重ねた末、この度「ニコニコハウスだより」を創刊することができました。法人の事業活動紹介はもちろん、私たちが地域福祉活動を通して直面する現実、社会への想いや希望を発信していくたいと思っています。

ニコニコハウスは転換期に来ている、と感じます。ニコニコハウス発足当初の親御さんたちは、介護を受けるような世代になりました。法人役員や評議員を務めていた方も多くが辞められ、役員体制は大きく変わりました。当時学校を出てニコニコで働き始めた所員さんは、もうアラフィフ（50歳前後）です。働くことに健康不安が伴う人が少なくありません。親御さんとの自宅生活の限界を感じてグループホームに転居する人も増えています。

外に目を向けると、少子化で働き手不足が深刻になり、コロナや戦争による経済混乱、非正規雇用の増大と所得格差など、社会全体の疲労が重なって、結果的にマイノリティに対する偏見・差別が助長されるような風潮が一部で見られます。他方、多様性や共生というキーワードとともに、「(私と違う) いろんな人がいる社会」が普通という包摂的な社会観が若い人を中心に浸透している感覚もあります。

偏見をもつのは、相手を十分に知らないからで、知ることによって多くの偏見は解消できると考えています。私たちは、これまでの活動で、地域の人との交流を通じてそのような場面を数多く見てきました。これからも、サービス提供活動を通じて、また広報紙などを通じて、より多くの人に障害者や高齢者のこと、生きづらさを抱えている人の現状を知ってもらう機会を増やし、誰もが安心して暮らせる社会につなげていきたいと思います。

事業所紹介

~知的障害のある方たちが生産活動（はたらくこと）を主体に活動しています~

ニコニコハウス鶴里

しづらり屋 | パン屋 | 弁当屋 | 買物班 | 鳴海出張所



生産活動

・しづらり屋

しづらりの布巾をメインの製品として作っています。所員さんが刺繍した生地でカバンやポーチなども作っています。縫製品以外では、夏は花火、冬はツリーなど、季節を感じる創作を行い、掲示板に貼り出しています。最近はハンドドリップコーヒーの販売も始めました。

・パン屋

菓子パンやラスクなど手作りしています。笑笑屋や区役所などで販売しています。

・弁当屋

施設内の生活介護・高齢デイサービスの給食を手作りしています。法人内の他事業所にお弁当も届けています。

・買物班

高齢デイサービスも含め、弁当屋やパン屋などから、施設内の様々な買物の依頼を受け、お店まで買いに行き、注文があった部署に届けます。室内作業としては、コロナが流行した時期にマスクカバー（なんとかカバー）を製品化しました。今は小物入れとして販売しています。

・鳴海出張所

グループホームから依頼を受け、日用品の買い出しに行き、各建屋に届けます。散歩も兼ねてフリーの雑誌のポスティングも行っています。

製品販売

パン・しづらり布巾・手作り鞄・なんとかカバー（小物入れ）などの製品を施設横の笑笑屋で販売しております。一部のしづらり製品に関してはオンラインショップでも購入頂けます。QRコードのオンラインショップよりご注文ください。

笑笑屋（にこにこや）営業情報【場所：ニコニコハウス南側駐車場内】

毎週水・木・金曜日 13:45~14:45

※月曜日に不定期で上記時間に販売することがあります。

オンラインショップ QR コード



<https://www.nikoniko-house.jp/online-shop>



皆で力を合わせたニコニコ夏まつり！！

弁当屋で初めての焼きそばの出店でした。300食という大きな目標を立て、時間までに作れるのか、材料は足りるのか不安の中、所員・職員一丸となって時間までに作ることができました。前半は人の流れが少なく、昼食後ということもあり、売れ行きは不調でしたが、後半は盛り返しました。ボラさんや所員・職員が多めに購入くださったものの、完売とはなりませんでしたが、無事終了できました。残りは鶴里公園の盆踊りで販売し、無事完売！空っぽになった焼きそばを入れていた箱を見て「ほっ」としました。



洗たく屋はジュースの販売を担当しました。店頭に立って販売された所員さんも久しぶりのお祭りで、楽しく販売できました。売れ行きも良く、所員・職員とも楽しく参加できました。



しほり屋は、Tシャツとかばんを夏まつり特別セールで販売しました。他の製品も含め、沢山買って頂きました。日頃お客様と直接顔を合わせて販売する機会がなかなかないので、そのワクワク感も味わえました。



夏祭りに向けて、パン屋では一ヶ月程前からラスクを、当日は朝から作業を開始し菓子パンや食パンを作りました。4年ぶりのお祭りということもあり、多くの所員さんが午前から出勤し、完売したときはみんなで喜び合いました。やっぱりお祭りは楽しいですね。



買物班・しほり屋食堂班は職員から品物を集めバザーを行いました。ティファニーのシャンパングラスに今治タオル、ラブライブのフィギアに至るまで、バラエティーに富んだ品揃えで、大人も子どもも楽しんで頂きました。皆さん端から端まで見てくださいり、掘り出し物を見つけられたのでは？？久しぶりのお祭りで所員さんもお客様との交流を楽しみました。

今回の目玉の1つはキッチンカーでした。3つのお店に来て頂きました。値段が高いというお声もありましたが、「目新しくて良かった」「自前で用意できないメニューがあった」等、大変好評でした。密の回避と相まって大行列とならなかったことも良かったです。

地域の方からの要望で、おばけ屋敷も復活しました。今回、おばけ役は小学生のボランティアさんが担ってくださいました。迫真的演技に、泣き出してしまったお客様もいて、大いに盛り上がっていました。

ニコニコ夏まつり二〇二二



新型コロナウイルス感染症の影響により、実に4年ぶりの復活となった「ニコニコ夏まつり」。皆さん日頃の行いもあってか、お天気も何とか持ち、無事に開催することができました。今回、初めて昼間の時間帯での祭り開催となりました。時間変更の狙いは、夜間の送迎の危険回避と、お客様の密の回避でした。祭りの開催時間は例年の2時間から3時間に延長された為、実際にはゆったりとした時間の流れに感じられた方が多かったようです。お客様に小さなお子さんが多かったのは、昼間ならではであったのかもしれません。ただ、一番暑い時間はどうなのか?というお声も多数ありました。入口2箇所にミストシャワーを設置しましたが、暑さ対策にはまだ改善の余地があるようです。

今回初めて所員さんを2つのグループに分け、2部制を導入しました。参加される所員さんを分散させることで、密は避けることができたように思います。ただ、2部制にしたことで慌ただしく、祭りを楽しめなかつたというお声も聞きました。今後も、皆がより楽しめる祭りを考えていきたいと思います。

色々と形は変わりましたが、ニコニコハウスの夏まつりが数少ない地域の方との交流の場として、十分な復活を果たしたのではと思っています。新しい試みで、新しい課題も生まれましたが、今年度の反省を活かしつつ、来年度の夏まつりへとバトンを繋ぎたいと思います。

最後になりましたが、駐車スペースをお貸し頂きました「高蔵鋼材株式会社」様、「松美建設株式会社」様。警備等でご協力頂いた鶴里町内会の皆様。ご協力、誠にありがとうございました。

夏まつり実行委員長 平野 勇太

ニコニコデイサービス鶴里 ~土曜日の取組みとご利用案内~

デイサービスのご利用者さんには「やってみたいけれど一人ではなかなかできない」、「少しの支援があればできるのだけど…」と、日頃からさまざまな思いがあるようです。またその思いを叶えるために、日々機能訓練や運動に励んでいる方もおられます。そこで土曜日の活動では、みなさんが日頃頑張られている成果を活かし喜びを感じていただけるような場所になるように職員一同奮闘中です。



ドライブに行きたい



健康の森までおでかけ

土曜日は リクエストデイ！

喫茶店に行きたい



おしゃれにティータイム

買い物に行きたい



😊 まだまだやってみたいこと盛りだくさん

- ★カラオケに行きたい ★美容院に行きたい ★お料理したい
- ★コンサートに行きたい ★お花を育てたい ★お化粧がしたい
- ★パンを焼きたい ★楽器を演奏したい ★海を見たい……

これからも、ご利用者の思いに寄り沿った企画を計画しています。お楽しみに！

ご協力いただけるボランティアさん募集中です
特技を活かして一緒に楽しみませんか



4年ぶりにホーム旅行に行ってきました

6月8日と22日の2グループに分かれ、日帰り旅行に行ってきました。竹島水族館でアシカショーを見たりエサやりをしたり。22日のグループは、あいにくの雨で桟橋には行けませんでしたが、その分ゆっくり水族館を見て楽しみました。



お昼ご飯は蒲郡オレンジパークで名物「あさり釜めし」を食べました。
おいしかったです。



デザートにはソフトクリームやフルーツジュースなど、皆さんお好きなものを召し上がってきました。



竹島桟橋でピース



また来年も
行こうね～(^~^)



いつもニコニコハウスの活動にご協力いただきありがとうございます。

「募集中」

- ・石鹼 → ニコニコデイサービス鶴里
- ・刺しゅう系 → ニコニコハウス鶴里（しづり屋）

よろしくお願い致します。

広報委員会のメンバー紹介



吉安 良太
よい内容にしてい
きたいので皆様のご
協力お願いします！



杉山 誠
皆さんに楽しく
読んで頂けるよう
頑張ります！



服部 恵美子
“ニコニコの輪”が
ひろがる様に頑張り
ます！



今井 豊彦
高鳴る思いをと
きめかせてお届け
したいです！



佐藤 真弓
皆さんに楽しん
で頂ける記事をお
届けします！



鈴木 蓮
読んで笑顔になれ
る様な記事を目指し
て頑張ります！

発行：社会福祉法人ニコニコハウス

〒457-0021

南区鶴里町3丁目40番地1

TEL 052-825-0711

FAX 052-819-1577



ホームページ QR コード

<http://www.nikoniko-house.jp>